

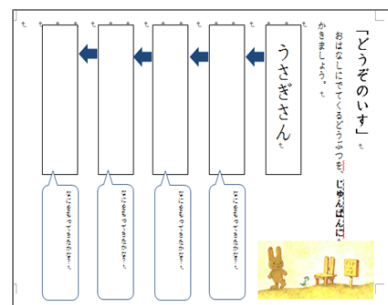
教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることの指導 ～音読、ペープサート、劇遊びを組み合わせた事例～			
学部・教科	小学部・国語科	事例コード	2205
学習グループの実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学部6学年（2名・重複障がい学級）</li> <li>平仮名で書かれた簡単な文を拾い読みで読むことができる。知っている語句やイラストを手掛かりとして単語のまとまりで読むこともできる。</li> <li>文字や文を目や指で追っていくことに苦手さがある。</li> </ul>		
単元(題材)名	『どうぞのいす』		
学習指導要領の内容	国語科／小学部2段階 [知識及び技能] イ(イ) [思考力、判断力、表現力等] A聞くこと・話すことーエ、C読むことーア		
単元(題材)の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむことができる。 【[知] イ(ア)】	挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすることができる。【[思] Aエ】 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 【[思] Cア】	言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。【小2段階目標ウ】
単元(題材)の計画	1 読み聞かせを聞く。 2 音読をする。…登場人物と、台詞に印をつける。 3 ペープサートを見る。…教師の「次はだれかな」の問いに答えたり、登場人物を登場する順番に並べたり、教師の読み聞かせに合わせて操作などする。 4 劇を行う。…役割を決め、自分の役割の文を読み、言葉や動作で表現する。		
指導の実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読では、文を短く区切りイラストを手掛かりとしながら読み進めることで、文の意味を理解することができ、動作や台詞で表現することができた。</li> <li>ペープサートを通して、視覚的に登場人物の登場する順番が分かることで、次に出てくる登場人物を意識する様子も見られた。</li> <li>劇で動作を表現することを通して、言葉と動作が結びつき、文章を読んで振り返った際に「〇〇だったね。」などと文に含まれていない内容も想像して言葉で表す姿が見られた。</li> </ul>		



ペープサート



音読教材



プリント教材